

東京都中学校理科教育研究会、工場来場。 理科の先生のフィールドワーク

東京都中学校理科教育研究会から、9人の理科の先生方が、“地学に関する見分を深め、中学校理科の指導力向上に資する”という趣旨のもと、工場見学に見えました。

今回の工場見学は、理科の先生方による学術研究のための実地調査。

理科の授業では“岩石の風化”を教える際、購入した花崗岩をアルコールランプで熱して、水で冷却するという作業を繰り返すことで、光・水・大気にさらされる永い年月を人工的に作り出し、花崗岩をもろくさせて風化を再現するそうです。しかし、その実験ではマグマが冷えて固まり、風化していくという1億年を実感として感じにくいのが難点だったとのこと。良いサンプルを方々探し回り、弊社にたどり着いたそうです(弊社のバーミキュ

ライト製品は、この風化し崩れた花崗岩の中から、バーミキュライトの原石だけを選び分けて焼成したもの)。

先生方が目を輝かせて観察していたのは、採鉱場の大きな石。これはバーミキュライトの原石も含んでいますが、まだ花崗岩としての形をとどめていて、弊社の製品にはなりません。かといって、墓石の様なものにするにはもろ過ぎるという、まさに風化の真っ最中の状態。これこそ風化花崗岩のサンプルだということで、とても感動して頂いたようでした。



ハンマーでたたき、サンプルの採取。